

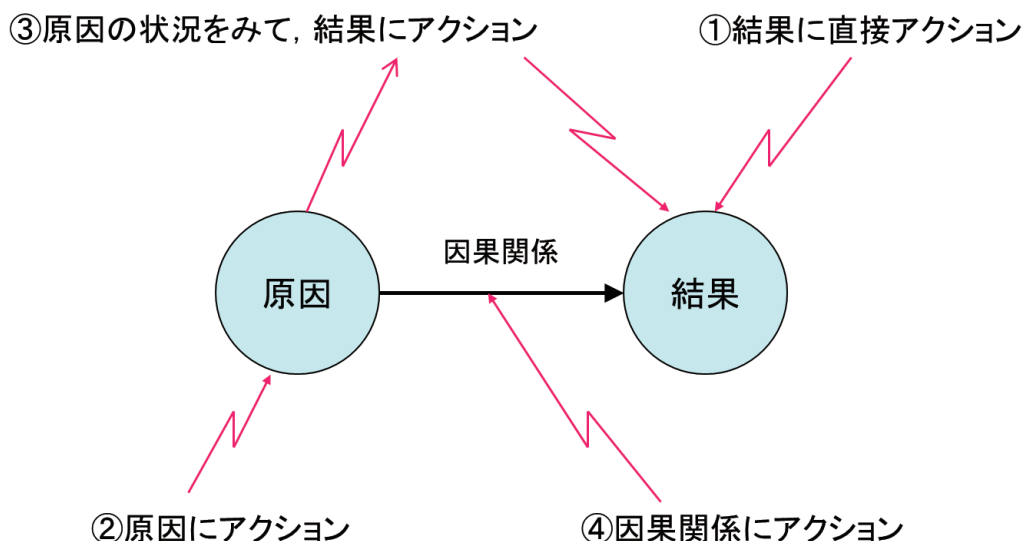
経営学部・経営学科・教授・仁科 健
ken-nishina@aitech.ac.jp

キーワード 品質管理、機能のばらつき、データ解析

概要

ものづくりのプロセスをざっくりと捉えるならば、企画—設計—製造の連鎖と考えることができる。各ステップにおいて「価値がある結果を、いかにして後工程に提供するか」を考え、実行するのがものづくりのマネジメントであり、結果がもつ機能のばらつきを抑えるためのマネジメントが品質管理である。

ばらつきを抑えるためのアプローチは4つある（下図）。提供するシーズはデータ解析を用いたばらつき退治である。



セールスポイント

ニーズ側の対象として業種を問わない。「ばらつくのは結果がもつ機能である」と考えるので、ものづくりの部門／企業だけではなく、サービス部門、サービス業も対象となる。

企業等での活用例、今後の展望

1. 半導体ウェハ製造工程の工程解析／工程管理企画、幾何特性の工程解析など。
2. IoT環境下でデータを獲得する環境が変化した。この環境変化への対応も考えたい。

参考資料

仁科 健 (2010) : 「統計的工程管理」 朝倉書店